

熊取町議会委員会会議録

環境施設広域化調査特別委員会

令和 6 年 3 月 11 日開催

熊 取 町 議 会

目

次

[環境施設広域化調査特別委員会]

ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等について	1
--------------------------------	---

環境施設広域化調査特別委員会

月 日 令和6年3月11日（月曜）招集

場 所 熊取町役場議場

出席委員	委員長	文野慎治	副委員長	二見裕子
	委員	長田健太郎	委員	坂上昌史
	委員	大林隆昭	委員	坂上巳生男
	委員	田中圭介	議長	河合弘樹

欠席委員 なし

説明員	町長	藤原敏司	副町長	南和仁
	総合政策部長	東野秀毅	総務部長	藤原伸彦
	住民部長	巖根晃哉	住民部理事	山本浩義
	環境センター 所長	椿原康雄		

事務局	議会事務局長	林利秀	書記	阪上高寛
-----	--------	-----	----	------

案 件

1) ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等について

委員長（文野慎治君）皆さん、こんにちは。皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日の審議に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は7名全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから環境施設広域化調査特別委員会を開会いたします。

（「13時30分」開会）

委員長（文野慎治君）発言される方は挙手の上、着座で、マイクの赤いランプが点灯した後に発言していただきますようお願いいたします。

本日の案件は、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件1件であります。

それでは、案件1、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件について説明願います。椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）それでは、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等について説明いたします。

まず、1、令和5年度実施委託業務でございますが、1つ目の二重丸、新ごみ処理施設整備事業に係る施設整備基本設計策定及び環境影響評価等業務につきましては、契約業者が株式会社建設技術研究所大阪事務所、契約期間が令和3年7月5日から令和7年3月28日で、4年間契約の3年目でございます。契約金額が3億266万5,000円でございますが、今年度契約変更の予定があるとのことで、増額の予定となっております。そして、この業務に関する今年度の支払い予定額が1億877万9,000円となっております。

次に、2つ目の二重丸、循環型社会形成推進地域計画（第2期）策定業務につきましては、契約業者が株式会社建設技術研究所大阪事務所、契約期間が令和5年4月24日から令和6年3月29日、契約金額が315万5,000円となっております。

次に、3つ目の二重丸、令和5年度委託業務における業務別進捗状況でございますが、1点目、

環境影響評価手続業務につきましては、令和5年度までに行ってきた環境影響調査の結果を踏まえ、評価後の環境影響評価準備書作成を進め、年度内には大阪府へ提出する見込みでございます。

次に、2点目、PFI導入等可能性調査につきましては、令和4年度にまとめたものを新ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会で報告し、本年度中に完成する見込みでございます。

次に、3点目、新ごみ処理施設整備事業に係る基本設計書につきましては、第2回新ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会において審議した内容を基に修正を行い、本年度中に完成する見込みでございます。

続きまして、2、令和5年度本町負担金についてでございますが、令和5年度負担金が現在のところ2,205万4,000円の予定でございます。これは次の①と②の合計額でございますが、①の委託費につきましては、a 業務委託支払い予定額1億1,193万4,000円から交付金額273万6,000円を差し引いた金額1億919万8,000円に、bの本町負担率19.68%を掛けた結果、2,149万1,000円の予定となっております。

次に、②の報酬及び事務経費につきましては、報酬及び旅費として32万8,000円、事務経費として136万円の合計168万8,000円となり、こちらにつきましては、3市町均等割での負担となりますので、本町分が56万3,000円となり、合計しますと、先ほど申し上げました2,205万4,000円の予定となります。

続きまして、2ページをご覧ください。

3、新ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会についてでございますが、9月の第2回委員会では、新ごみ処理施設整備事業に係る基本設計書の審議、PFI導入等可能性調査の報告がされております。また、今月末には第3回委員会の開催が予定されております。

次に、4、ごみ処理広域連携検討会についてでございますが、4月と12月に新施設建設に向けての事業スケジュール説明、2月に区画整理事業の進捗状況の説明があり、それに係る議論を行っております。

次に、5、ごみ処理広域連携担当者会議についてでございますが、第16回から第24回にかけて9回の会議を開催し、主にごみ搬入受入れ時の運転免許の確認方法や実際に免許確認を実施した際の状況、また、基本設計案等についての議論を行っております。

次に、6、地元説明会についてでございますが、本年度は9回実施されており、主に環境影響評価の調査内容等についての報告がされたところでございます。

次に、7、新ごみ処理施設の建設スケジュール変更についてですが、新ごみ処理施設は、当初令和8年度に着工し、令和12年度に稼働を開始するスケジュールで検討してまいりましたが、建設着工が令和10年度となり、施設稼働が令和14年度開始となる旨のスケジュール変更の報告を受けました。この原因としましては、旧泉佐野コスモポリス用地東地区土地区画整理事業の進捗の遅れによるものでございます。当初の区画整理事業では、令和4年10月から募集を始め、令和7年度中に完了させるスケジュールでございました。しかし、この事業者公募に対し、提案書を提出する者がいなかったため、令和5年11月に再度の募集が行われたところでございます。この募集による現在の区画整理事業では、令和10年度の事業完了を見込んでおられることから、新ごみ処理施設の建設着工が令和10年度にずれ込み、当初の計画より稼働が約2年遅れるスケジュールとなったものでございます。

次に、8、今後の予定でございますが、次年度につきましては、①4年間契約の4年目業務として環境影響評価業務等を行います。

②新ごみ処理施設都市計画決定業務を行ってまいります。

③区画整理事業について、次年度以降造成、インフラ整備が実施されると伺っております。また、地元対策等の経費に関する負担割合の検討を行う予定となっております。

④施設整備スケジュールにつきましては、令和6年度から10年度にかけまして、区画整理事業の造成工事が行われ、8年度から9年度にかけまして新施設の整備運営事業者の公募、決定、令和10

年度からは施設整備工事が4か年の予定で行われ、令和14年度に新施設の稼働開始の予定となっております。

続きまして、3ページにお示しさせていただきました資料の説明をいたします。

資料タイトルが新ごみ処理施設建設費及び運営費となっております。これは泉佐野市田尻町清掃施設組合が新施設の建設及び運営に係る大まかな金額を把握するため、今年度に行った業者アンケートの結果を取りまとめたものでございます。

概要を説明いたします。

上段の施設整備費の表ですが、5者のプラントメーカーからのアンケート結果等に基づいて出された見込額が税込みで約610億円から約690億円となっております。

なお、備考欄にございますように、10%の物価上昇分を見込んだ数字となっております。

次に、施設整備費に含まれる項目ですが、エネルギー回収推進施設といいまして、いわゆるごみ焼却施設やマテリアルリサイクル推進施設といいまして、粗大ごみ処理施設の整備費をはじめ土地の購入費や、本町は負担しない組合の現有施設の除却費等を含んだ数字でございます。

次に、下段の運営費1年分の表ですが、こちらは新施設稼働開始後にかかる運営費の1年当たりの経費を概算したもので、整備費と同様、業者アンケートにより得られた数値と組合及び本町の令和4年度実績数値とを合わせて推計したものになっており、3市町の負担額は税込みで約9億円から約12億円となっております。現在、令和8年度の公募に向けて基本設計や要求水準策定作業の途中であり、これらの金額につきましては、確度の高い金額ではありませんが、近年、建設土木工事に係る人手不足や人件費の上昇、国際情勢の影響から資材やエネルギー価格の高騰、納期遅延、電子部品の入手困難などのマイナス要因があり、いまだ改善の傾向は見られず、必要な経費は従前の1.5倍とも2倍とも言われている中、いずれにしても厳しい情勢であることは間違いないと考えておるところでございます。

なお、本資料につきましては、現時点での業者アンケートによる見積額を基に超概算で取りまとめたものとなっているということで、数字が独り歩きしないよう取扱いには十分ご留意いただきますようお願いいたします。

以上でご説明を終わります。

委員長（文野慎治君）以上で説明を終わります。

それでは、質疑を行います。質疑はありませんか。二見副委員長。

委員（二見裕子君）すみません、稼働が2年遅れるというふうなスケジュールになったというところなんですけれども、遅れることによって、熊取町として、今ごみの施設ありますけれども、そのあたりの負担、もう広域でということになっていたんで、2年遅れた分、その分負担が発生するのかなというふうに思うんですけれども、そのあたりはどうですか。

委員長（文野慎治君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）そのあたり、一応従前から長期維持補修計画ということで、令和12年度稼働開始という前提の下に計画を組んでおったところでございますが、この報告を受けまして、2年延ばさなくてはならないというようなことで、その計画の2年延ばしの作業というのは一応やっております。金額的にも若干は増えてしまうという結果にはなっておりますけれども、何とかその間、施設を止めることなく、住民さんに迷惑のかからないような運営を行ってまいりたいと、このように考えております。

以上です。

委員長（文野慎治君）二見副委員長。

委員（二見裕子君）具体的に金額とかどれぐらい、町として持ち出さないといけないのかという費用が分かりましたら教えてください。

委員長（文野慎治君）椿原環境センター所長。

環境センター所長（椿原康雄君）あくまでも計画上の金額で見込みとなりますが、約1.5億円増という

ふうに考えております。

委員長（文野慎治君）いいですか。ほかに質疑はありませんか。ないですか。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。以上で質疑を終わります。

これをもって、案件１、ごみ処理広域化に係る経過及び今後の予定等についての件を終了いたします。

委員長（文野慎治君）以上で、本日の案件は全て終了いたしました。

その他、何かご報告があれば承ります。何かございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、これをもって環境施設広域化調査特別委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

（「13時46分」閉会）

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

環境施設広域化調査特別委員会委員長

文野慎治